

<< 令和3年度 自己評価結果公表シート >>

幼保連携型認定こども園 こもれび

2021(令和3)年度 施設としてどのように取り組んだかの自己評価結果報告

(最重要課題) 新型コロナウイルス感染拡大予防対策及び発生時の対応

・令和3年度も感染拡大予防対策として、令和2年度に引き続き、園でのあらゆる活動に対して制限がかかる窮屈な1年となった。

感染拡大予防対策を目的とし、対策マニュアルの作成及び対策実施状況のチェック、新型コロナウイルス感染拡大状況のレベル分類(京都府病床等の状況)を行うことでリスク軽減を図った。しかし、1月31日の職員陽性を皮切りに感染拡大が止まらない状況が約1ヶ月続いたことで、職員不足が発生し京田辺市への申請を行い、幼稚園枠1号認定子どもの登園自粛期間を2週間設けることとなった。

但し、拡大に伴い感染拡大予防対策として、昼食時及びコーナー遊び時のパーティションの設置及び午睡時のソーシャルディスタンスの確保等の実施により、濃厚接触者リストの提出までの所要時間は改善された。また、令和4年度に向けてこれからのコロナ感染拡大予防対策に関して、課題整理の機会を設けることができた。

課題

(1) **主幹教諭・リーダー職の教育、業務分担整理**

役職者に対する業務分担を定義し課題整理を行ったが、実務作業が目に見えて増えたことから、幼児クラス担任の超過勤務の増加に繋がる傾向にあった。また、管理職研修(キャリアアップ)の実施及びマネージャーMtgを定期的に行い、管理職としての在り方や法人が求める姿を話す機会とした。

(2) **放課後児童クラブ事業の立ち上げ、一時預かり事業の定員枠の増加**

新法人における放課後児童クラブ事業 Sola(空)の立ち上げが予定通りに完了し、令和4年4月1日からの事業開始の準備が整った。

又、一時預かり事業は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、実際に開催できたのが約60日(利用者70名)の結果となった。定員枠の増加に関しては、3名増加の5名の開催を目標とし、関連職員での協議の場を設けた。

(3) **園内での外部運営の習い事の立ち上げ**

新規習い事の立ち上げとして、プログラミング・サッカー・ダンス・キッズヨガの導入検討を行ったが、体験レッスン開催がコロナの影響により難しかったこともあり、令和3年度はサッカーのみの新規導入となった。